

a whaling ship 船 ほげい

基本理念
私達は心のこもった医療を行い、地域に信頼される病院とすることを目指します。

独立行政法人
国立病院機構高知病院

編集●独立行政法人国立病院機構高知病院広報誌編集委員会／代表●先山正二／住所●高知市朝倉西町1丁目2番25号／電話 088-844-3111／FAX 088-843-6385

“第6波”へ備えよう！ 高知家の一員として



NHO 高知病院 院長
先山 正二

9月末に全国的に新型コロナ新規陽性者数が急速に減少し、高知では9月26日(日曜日)には、48日ぶりに新規陽性者がゼロとなりました。第5波はこれまでになく多くの陽性者を出し、医療は逼迫しましたが、陽性患者は急速に減少しました。この第5波における陽性者の急速な減少理由に関しては、新型コロナワクチン接種の普及、緊急事態宣言やまん延防止等措置法などによる人流の抑制、個人の感染対策、気候・季節による影響などの要因が原因と考えられていますが、現時点では専門家においても十分に説明しきれないようですので、今後の解析が進むことを期待したいものです。

新型コロナ関連の病院支援として当院から他病院に派遣した2名の看護師が無事役目を終えて当院に復帰しました。1名は関東の当院と同じ機構病院に、もう1人は沖縄県のクラスターが発生した病院への派遣でした。無事に役割を果たして帰院してくれた2人と、2人が不在中に業務を分担してくれた職員に感謝するとともに、大変心強く思っています。

当院での新型コロナワクチンの一般接種は5月以来9月末までのべ11,225回の接種となっています。9月27日は高知県からの依頼により27人にアストラゼネカ製のワクチン接種を行いました。ポリエチレングリコールに対するアレルギー等により、ファイザー社製やモデルナ製ワクチンを打てない方が対象です。

新型コロナの“第6波”は早ければ11月頃とも言われてい

ます。春の第4波、夏第5波は、陽性者数は違えども昨年の流行時期と一致しています。昨年の第3波は10月末頃から増え始め1月上旬頃にピークを迎え2月まで続いていますので、流行に季節性の要因が大きいとすれば、今のうちに第5波の経験に基づいた医療体制を整えておく必要があります。当院も県を中心とした対コロナ医療計画・体制の中で、行政、医師会、医療機関と協力し高知家の医療担当の一員として職員が一丸となり当院としての役割を果たして行きたいと思います。いずれにしろ中等症、重症患者がより少なく済んでもらいたいものです。

現在、国内外で新型コロナ感染に対する“飲み薬”による開発と治験がすすんでおり実用化への期待が高まっています。国産の軽症者や無症状者に対する内服薬(5日間内服)はすでにダブルブラインド試験による治験が進んでいるようですし、海外の複数の大手製薬会社による内服薬の臨床使用への期待も高まっています。

これから例年であればインフルエンザの流行期に向かいますが、昨年は驚くほどインフルエンザは少なかったわけですが、昨年がインフルエンザの流行がなかった分、今年の流行が懸念され注視しておく必要があります。

これから先、まだまだ新型コロナ禍の状況下で一喜一憂することがあると思われませんが、ポストコロナの社会に向けて着実にトンネルを抜ける方向に進んでいると思います。賢く頑張りましょう。基本的感染対策を忘れずに。

第17回 中国四国地区国立病院機構・ 国立療養所看護研究学会



看護師長
小松 里香

第17回中国四国地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会を、令和3年9月11日、高知市文化プラザ・かるぽーとにおいて開催しました。昨今の新型コロナウイルス感染状況を鑑み、WEB配信及びオンデマンド配信の完全WEB開催となりましたが、口演28



演題の発表、活発な意見交換を行うことができました。日々の支援方法や、栄養に関する介入については、他施設での取り組み内容から参考にすることが多く、自病院でも検討してみたいと思う内容でした。また、特別講演では、講師にWマコトの中山真先生、中原誠先生に「笑いの五原則」と題し人間力を高める講演をしていただき、チーム連携強化のためのコミュニケーション術を教えてくださいました。講演中、笑いが絶えないひと時を過ごすことがで

きました。当日は3375人の会員の皆様から多数のアクセス数を頂きました。改めて会員の皆様の知識欲の高さを再認識し、WEB開催を実施した意義があったと感じています。示説発表登録して頂いた37演題につきましては、9/11～10/22までオンデマンド配信で視聴可能となっておりますので、多数の方が視聴され看護の参考にいただければと思います。

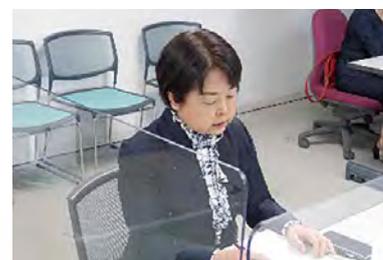


きました。

当日は3375人の会員の皆様から多数のアクセス数を頂きました。改めて

会員の皆様の知識欲の高さを再認識し、WEB開催を実施した意義があったと感じています。示説発表登録して頂いた37演題につきましては、9/11～10/22までオンデマンド配信で視聴可能となっておりますので、多数の方が視聴され看護の参考にいただければと思います。

私は総合司会の大役を務めさせていただきました。WEB開催であり、



聞き手にどのように聞こえているかタイムリーに分からないこともあり心配でした。聞き手が聞きやすいよう、話

すテンポや間の取り方を意識して進めましたが、限られた時間の中で進行することの難しさを感じました。また、WEB配信のため通信障害に陥る場面もありましたが、事前に予測し、座長代理人を設けていたことでスムーズに進行することができました。今回携わってくださった方々に感謝し、今後に繋げていきたいと思っています。



Web がんサロンを 開催しました

地域医療連携室 副看護師長
がん相談員
長浦 英世



国立病院機構高知病院がん相談支援センターでは、例年、月1回「がんサロン希望」を開催し、患者さんやご家族と交流をさせていただいていました。しかし、コロナ禍であることを機に長期間開催を見合わせておりました。そんな中、様々な会議や講演がWebで実施されている現状を鑑み、Webでサロンが開催できないかと考え、7月15日無事1回目のWebがんサロンを開催できました。

がんサロンは「患者さんやご家族が自らのお気持ちを語る」という極めて繊細な内容になります。不特定多数の人が閲覧することは、個人情報管理の観点より差し控えたほうが良いと判断し、各部署に参加希望の方を事前に募りました。そして、参加ご希望の方に当日までに、入室方法などを事前に説明を行いました。

た。

「頑張っている自分を語ろう」というテーマで、参加された患者さんはそれぞれの体験や、自身の思いを語られました。語るときも、聞かるときも、それぞれがその話に共感し、うなずき、時に涙する、そんな優しい空間を共有することができました。

まだまだ課題は多くありますが、今回の経験をもとにさらに開かれた「がんサロン希望」を目指して、企画運営に取り組みたいと思っています。



<参加ご希望の方へ>
1. Web開催のため個人情報保護のため事前申し込みが必要です。
2. 下記お問い合わせ先にご連絡ください。
3. 必ずコードをお読みし入室方法をご確認ください。
当日はマスク着用をお願いします。
患者との会話や情報交換などが困難な中、集まれる場所を作りました。運営費も無料ですがぜひお越しください！お待ちしております！
国立病院機構高知病院地域医療連携室・がん相談支援センター
088-828-4465 担当：長浦・西本

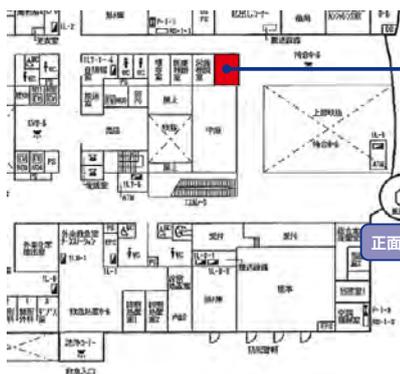
「1階待合ホールの 新たな活用について」

経営企画室長
三嶋 哲也



1階待合ホールの一角の休憩スペースにおいては、かつては閑散としていたり、絵画や押し花を掲示していたものの、固定しており殺風景で変化がないものでした。そこで、この度来院された患者さんや家族の皆様へ癒しの時間を提供するとともに、親しみを持てる場とするために四季折々の季節感が味わえる写真を展示することといたしました。

今後、地元のアマチュアカメラマンからご提供いただいた写真を2～



3ヶ月毎に季節に応じて入れ替えて展示していくこととなります。

当院へ来院された際には、是非こちらへ足をお運びいただき、コロナ禍で行動が制限される中、その時々季節感あふれる景色等をご覧いただき少しでも癒しが得られれば幸いです。



診療科紹介 (呼吸器外科)

総合診療部長
日野 弘之

呼吸器外科は、先山正二院長（昭和61年卒）、日野弘之（平成3年卒）、森下敦司（平成22年卒）の3名で構成されています。肺癌を主体とした胸部疾患、食道疾患、甲状腺癌を主体とした頸部疾患を扱っています。2020年1月～12月の1年間では、呼吸器・縦隔・横隔膜・胸壁の手術が158例、うち肺癌根治術が87例でした。甲状腺・頸部の手術は23例でありました。肺癌根治術では県内有数の症例数となっております。

最近の試みでは、安全性・根治性を損なわず、より低侵襲な肺癌根治術を目指し、2019年12月か

ら単孔式胸腔鏡下肺癌根治術を導入しております。これは約4cm長の側胸部の小開胸創から、胸腔鏡、術者の道具、助手の道具を胸腔内に挿入し、肺葉切除術・肺区域切除術を行う方法です。創部が1か所のみであり、創部痛も少なく、整容性にも優れており、究極の低侵襲手術とも考えられます。2019年12月～2021年2月の1年3か月間で72症例を経験し、中四国でもトップクラスの経験数となっております。今後もさらに患者様に有益な手術手技を磨いていきたいと考えております。



先山 正二 院長



日野 弘之



森下 敦司

認定看護師紹介



皮膚・排泄ケア
認定看護師
竹長 幸子

私は、皮膚・排泄ケア認定看護師として活動させて頂いております、竹長 幸子（たけなが さちこ）と申します。

皮膚・排泄ケアであるWOC分野とはまず、W（創傷・褥瘡）、O（ストーマ）、C（失禁）分野と3分野に分かれています。創傷分野は褥瘡予防・ケア、スキンケア、がん患者・高齢者の脆弱な皮膚のケアなどの傷のケアをする分野です。ストーマ分野は人工肛門・人工膀胱患者への術前から退院後の継続ケアをする分野です。失禁分野は排泄の失禁に関連する皮膚障害への予防・ケア、失禁への予防やケアをする分野です。

私は、6階北病棟 副看護師長として勤務しながら、活動日に認定看護師として、外来・病棟患者・家族さんへの相談・実践・指導、現場のスタッフへの実践指導や勉強会の開催、専門看護研修に取り組んでいます。また、地域で訪問看護を受ける患者さんや施設入所する患者・家族さんへの連携を訪問

看護ステーションや施設と図ることで、在宅でのケアが必要な患者さんが不安なくケアが受けられるよう相談や連携を行っています。日頃、地域で携わってくださっている方々が密に連携をとってくださっていることに感謝申し上げます。

私は、今後WOC分野の中のW(創傷・褥瘡)においてタイムリーな処置により患者さんが少しでも苦痛がとれ安心していただけるよう、創傷管理関連の特定行為研修を受講し特定認定看護師を目指しています。その目標をかなえるため、7月より日本看護協会で行われている特定行為研修を受講しています。認定看護師活動と両立しての受講を行っており、無事に修了できるか少し不安を感じていますが、WOC分野で関わる患者さん・家族さんへのケアへ活かせられるよう取り組んでいきたいと考えています。なお、WOC分野でお困りの地域の方々がいらっしゃいましたらお気軽にご相談ください。



スピリットアート展



保育士
山本 香織

今年も中病棟では3名の方がスピリットアート展に向けて、8月の終わり頃からスタッフと一緒に絵画や書道に取り組みました。

それぞれの思いが込められた作品たちは見事2作品が入選されました。実際に展示会場に行くことはできませんでしたがリモートで会場と中継をし、自分の作品が飾られている様子を見て利用者さんからは笑みが溢れていました。

会場での展示期間が終わり、簡単にではありませんが賞状の授与式をおこない、緊張しながらもうれしさがにじみ出る和やかな空気が流れていました。受賞された方々、おめでとうございます。今回の吉報を受けて、出品された3名とも次回の創作意欲に燃えており、来年に向けて引き続き励んでいきたいと思ひます。



つくし花火大会



療育指導室 児童指導員
中島 章勝

今年度のつくし花火大会は、新型コロナウイルス感染予防により、皆で一同に集まることが難しく、病棟毎に日を設けて2つの病棟が無事計画通りに実施することができました。

南病棟は悪天候が続く中、貴重な晴れ間の中で盛大に行いました。まずは特別療育のオリンピック種目で競った上位の表彰式後、大きな手作りスイカが登場しました。棒で叩いたり、ボールを投げ当て皆でスイカ割りを楽しみました。そうしている間に、辺りは日暮れて花火本番のスタートです。先山病院長の「打上花火」が空高く舞うと一気に場が盛り上がりました。カラ

フルな「吹上花火」や「仕掛花火」のナイアガラ、「打上花火」を見た後は、皆で「手持花火」も楽しみ、ゆったりと綺麗に燃え続ける花火をいつまでも見つめながら過ごした花火大会でした。

中病棟は当日雨模様で療育訓練室からの花火観覧となりましたが、間近で迫力ある花火を興味深そうに眺めていたのが印象的でした。北病棟は感染対策で残念ながら実施できておりません。

引き続き、利用者さんに楽しんで頂けるよう可能な範囲内で行事を計画していきたいと思います。



職員の異動

7月2日付～10月1日付の人事異動（常勤）



退職

▶ R3.7.31

看護師

山本 美加

▶ R3.8.31

看護師

野村友里恵

看護師

吉村 光平

退職

▶ R3.9.10

看護師

井上 亜美

▶ R3.9.30

看護師

濱田 薫

栄養管理室だより

栄養食事相談について



栄養管理室長代理
永野 由香里

栄養管理室では医師の指示のもと、患者様おひとりおひとりに合った栄養食事相談を実施しております。

栄養食事相談は入院と外来とで行っており、管理栄養士が患者様の病態や生活環境などに配慮し、継続して実践できるプランをご提案させていただいております。

栄養食事相談のおもな対象は、糖尿病、腎臓病、高血圧、心臓病、脂質異常症、肝臓病、貧血、痛風、胃・十二指腸潰瘍、消化器疾患、炎症性腸疾患（クローン病、潰瘍性大腸炎）、摂食嚥下障害、低栄養、がんの食事などとなっています。入院患者様は病棟で、外来患者様は1階の栄養相談室（現在は外来診察室等）で、各種パンフレットやフードモデル等をご提示させていただきながら実施しております。栄養食事相談を通じて患者様の食生活の改善や栄養面でのサポートに携わることができましたら幸いです。

栄養食事相談は保険診療として医師の指示に従って行います。ご希望の患者様は主治医にご相談ください。

栄養相談のご案内

対象疾患：糖尿病、腎臓病、高血圧、脂質異常症、摂食嚥下機能低下 など

血糖値が高い

コレステロール・
中性脂肪が高い

血圧が高い

腎臓が弱っている

管理栄養士に

食事が飲み込みにくい

体重が急に減った

ご相談ください

食事中にむせる

がん治療中の
食事が知りたい

食事について困っていること、気になることはございませんか？
管理栄養士が一人ひとりに合わせ、お悩みにお答えします。
栄養相談をご希望の方は遠慮なく主治医にご相談下さい。

- 🌿 20～30分程度の個別相談を予約制でおこなっております（平日のみ実施）
- 🌿 栄養相談は医師の指示のもと、保険診療にておこなっております



感染管理室だより

アストラゼネカ製
新型コロナウイルスワクチン接種感染管理室
宗崎 梓

今回、高知県からの依頼を受け9月27日にアストラゼネカ製新型コロナウイルスワクチンの接種を実施しました。アストラゼネカ製ワクチンはウイルスベクターワクチンです。ポリエチレングリコール等のアレルギーで、mRNAワクチン(ファイザー社製、武田/モデルナ社製)を接種できない18歳以上の高知県在住者などが、接種の対象となっています。当日の接種希望者は約30名、県内の様々な地域から来ていただきました。現在当院では、月曜日から金曜日まで、毎日約130名の方々にファイザー製新型コロナウイルスワクチンの接種を行っております。そのため、ファイザー製とアストラゼネカ製の2社のワクチンが混在しないように、アストラゼネカ製のワクチン接種は午前9時30分からとして時間を分けました。接種場所は附属看護学校の体育館を使用しました。

当日朝、薬剤師が薬剤部内のクリーンベンチでワクチンをシリンジ充填し、接種会場は予診医師1名、看護師3名、事務2名で運営をしました。9時過ぎより数名来場されており、開始予定の9時30分には予

診を済ませた方から接種を始めることができました。ワクチン会場での業務に慣れたスタッフだったこともあり、スムーズにワクチン接種を行うことができました。

接種後はファイザー製のワクチン接種と同じように、会場内で15～30分待機していただき、副反応が出現しないかどうかの観察をさせていただきました。アレルギー反応を心配している方もいらっしゃいましたが、会場待機の時間内にアレルギー反応などの副反応の出現もなく無事に希望者への接種を終えることができました。

アストラゼネカ製新型コロナウイルスワクチンは十分な効果を得るために、1回目接種日から4～12週間後に2回目の接種を受けることが必要であり、8週間以上の間隔をおいて接種をすることが推奨されています。次回11月下旬頃に、今回接種された方々への2回目の接種を予定しています。次回のワクチン接種時も安心して、またスムーズにワクチン接種が受けられるように実施していきたいと思います。



医療安全管理室だより

5S活動報告を終えて

医療安全管理係長
山本 三恵

当院では医療安全管理活動として毎年5S活動に取り組んでいます。5S活動とは「整理・整頓・清掃・清潔・しつけ」の5つの頭文字をとっているもので、民間企業、特に工場などでは1980年代から積極的に取り入れている手法です。必要以上に物を置かない。誰でもすぐ分かる場所に物を置く、更に常に清潔に保つということを続けることで、探す手間を省いて作業効率を上げたり、不良在庫を抱えないためのコストを下げたりすることができ、最終的に企業の経済効率を高めるという効果があります。

医療の分野で考えると、コスト削減のほかに、物の位置が定められ、明確に表示されていれば、物を取り出す際に誤って違う物を取り出すという危険の回避に繋がります。そして、誰でもすぐ分かる場所に保管することで、緊急時に必要物品を取り出す際にその効果が発揮されと考えます。整理の中には医療機器の整理点検の内容も含まれ、医療機器の不具合による事故防止に繋がります。また、清掃・清潔は感染防止という観点から医療現場では重要なことといえます。

このような取り組みを、6月～8月までの3カ月の間に

各部署で検討・実施し、結果報告をポスター展示という形で9月に実施しました。今年度は21の部署が参加しました。展示だけでなく、活動報告の成果を称えるために、職員全員による投票も行いました。例年であれば、優勝から3位までのポスターは1階受付ホール前に展示するのですが、今年は、院内Webで結果をお知らせしました。改めて優勝部署は栄養管理室、準優勝部署は手術室、3位は4階南病棟でした。各部署いずれも整理整頓をテーマに活動され、素晴らしい活動・報告をされていたことが認められたのだと思います。

最後になりましたが、5S活動にご協力いただいた皆様ありがとうございました。

2021年度 5S活動報告 投票結果上位3部署はこちら

優勝(栄養管理室)



準優勝(手術室)



3位(4南病棟)



看護学校だより

第17回 中国四国地区国立病院機構・国立療養所
看護研究学会に参加しました専任教員
山本 美由紀

第17回中国四国地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会が9月11日(土)にオンラインで開催されました。メインテーマは、「人との関わりの中で育つ 人間力と専門力!!」でした。3年生は自宅での聴講ではなく、少しでも会場で聴講することを意識できるように教室を会場に見立てて参加しました。学生は、興味のある研究発表を聴講するために計画を立て積極的に学ぶ姿勢が見られました。10月に実施するケーススタディ発表会に向けて発表方法だけでなく聴講者や座長の役割についても先輩看護師たちの行動を見て学ぶことができていました。学んだことをぜひ生かしてもらいたいと思います。

特別講演はWマコトさんによる「笑いの五原則」でした。オンラインであることを忘れてしまうほど聴講者を巻き込んだ講演にはじめは固い顔で聴講していた学生達も笑顔になり、これから働くうえで大事なことを学ぶことができていました。

特別講演の感想

「感謝を伝えあうことで組織が活性化する」という言葉を聞いて自分はいつも感謝しているだろうかと考えさせられた。日々当たり前になっていることも誰かが行っていることに私は助かっていることがある。当たり前に思わず、感謝の思いを伝えていきたいと感じた。

「気づくが築く」という言葉が印象に残った。医療現場においても患者に対して、チームメンバーに対して、様々な人に対して関心を抱くことが人間関係の構築やより良い看護に繋がる。これからの生活に生かしていきたい。

月原教員の発表を
真剣に聴講中

Wマコトさんと何度かやり取りする場面もありました。大勢の視聴者の前で緊張もあったと思いますが、一番難しい質問にも見事に対応していました。

地域医療連携室だより



看護師長
西本 美香

①地域医療連携室の移転のお知らせ

9月27日から地域医療連携室が、1階医事課（入退院窓口奥側）に移転しました。移転に際して、カルテ棚の撤去・清掃、膨大な荷物の移動を、企画課の方をはじめ、多くの方々のご協力で行うことができました。今回、移転したことで、外来患者様やご家族様、ケアマネの方々と面談しやすくなりました。ご用の際はお気軽にお声掛けください。

②地域医療連携室だより 配置換え

コロナ禍のため、例年行っていた地域医療連携連絡会や、健康フェスタが今年も中止となりましたが、各診療科のリーフレットを作成し当院を知って頂けるよう取り組みました。院内にも配布し、大変好評な声を頂戴うれしく思いました。私は、平成28年4月に配属され、あっという間の5年6か月でした。10月からは、地域医療連携室に、森本純子看護師長、森本朋代副看護師長をお迎えします。私は、外来に配置換えになりますが、地域医療連携室と共に患者支援に関わっていきたいと思います。今後ともよろしくお願ひします。



カルテ棚



移転後



看護師
松谷 舞美

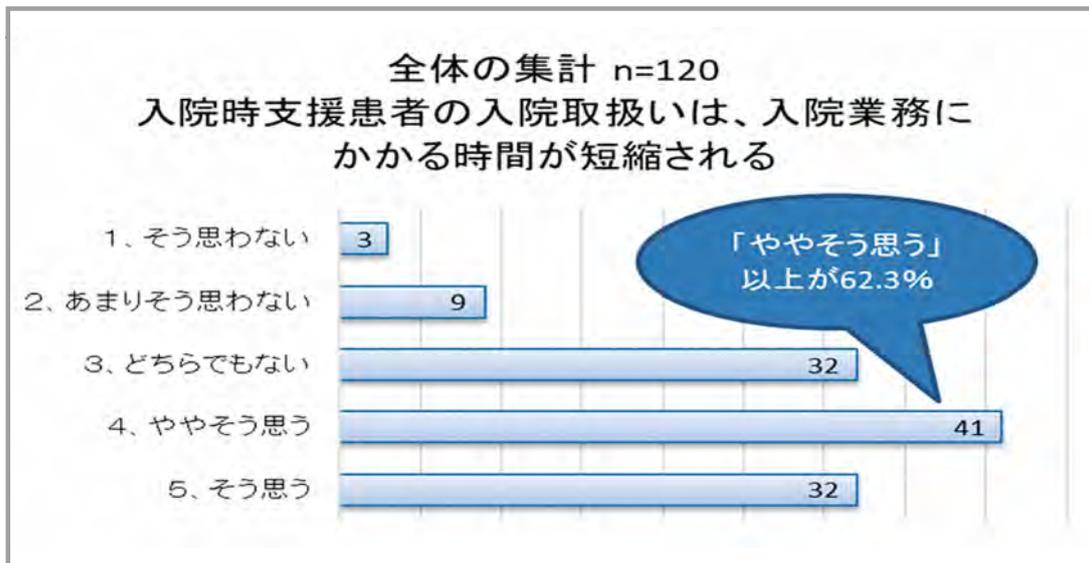
令和3年9月11日に開催された第17回中国四国地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会に参加し「入院時支援導入後の評価～病棟看護師のアンケートの結果から～」というテーマで演題発表させて頂きました。

当院は入院時支援を2018年5月から開始し、2021年5月からは対象者を拡大し予定入院患者全員に介入するようになりました。今回、入院時支援が病棟看護師の業務の軽減や看護実践、退院支援にどのように影響しているかを明らかにするために看護研究に取り組みました。病棟看護師対象にアンケートを行い、結果、入院時支援で得た情報については全体の74.7%が活用できていると回答がありました。また、

入院業務の短縮については全体の62.3%が業務軽減できているとの結果で病棟看護師と連携ができていくということが明らかになりました。

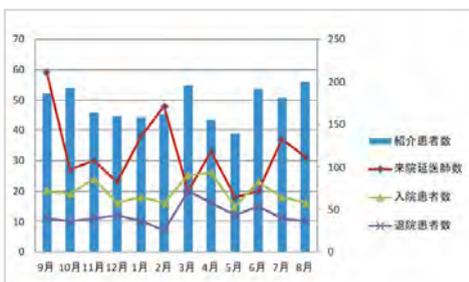
「早期からの退院支援に役立った」「事前情報が分かってよい」等の意見もあり、入院時支援が介入することで効果的な退院支援に繋がっていることが明らかになりました。一方で「運用に対する理解不足」等の意見もあり、教育計画を立て支援することが今後の課題ということが明らかになりました。今年度はラダー別の入退院支援OJTや院内研修を計画し、取り組んでいます。

今後も入退院支援部門、外来看護師、病棟看護師がより一層連携し、充実した患者支援を行っていきように努めていきたいと思ひます。

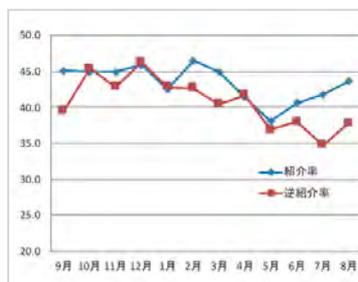


高知病院地域連携等概況

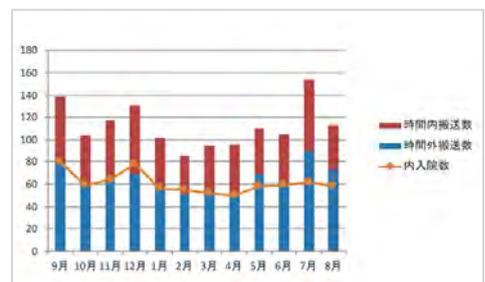
オープンシステム利用状況



紹介率・逆紹介率



救急搬送受診者数



外来診療担当医表

(令和3年10月1日現在)

■受付時間 8:00~11:00

■休診日 土曜・日曜・祝日・12月29日~1月3日

独立行政法人
国立病院機構 **高知病院**

〒780-8077 高知県高知市朝倉西町1丁目2番25号
TEL (088) 844-3111 FAX (088) 843-6385
<http://www.kochihp.com>

診療科	区分・診察室番号		月	火	水	木	金
内科	午前	1診 ⑫		小松 直樹	井上 修志	篠原・竹内 (隔週)	
		特別外来 ⑪	松森(糖尿病)	岩原(血液)	松森(糖尿病)	岩原(内科)	松森(糖尿病)
	午後	専門外来			化学物質過敏症(予約制)		
神経内科		⑬	不定期(院内案内板に掲示しています。お電話にてお問い合わせ下さい。)				
呼吸器内科 アレルギー科	午前	1診 ⑧	岡野 義夫	竹内 栄治	畠山 暢生	竹内 栄治	門田 直樹
		2診 ⑥・⑫		國重 道大	近藤 圭大	町田 久典	畠山 暢生
	午後	専門外来				禁煙外来 14:00~15:30(予約制)	
消化器内科	午前	⑨	林 広茂	池田 敬洋	高橋 早代	高橋 拓	池田 敬洋
循環器内科	午前	⑦	山崎 隆志	西村 直己	伊藤 いつみ (第2・4水曜)	山崎 隆志	
	午後	⑦			伊藤 いつみ (第2・4水曜) 受付16:00まで	ペースメーカー (第2木曜)	
リウマチ科		⑩	松森 昭憲 (糖尿病も診察)				松森 昭憲 (糖尿病も診察)
小児科	午前	1診 ①	大石 尚文			小倉 英郎	大石 尚文
		2診 ②	佐藤 哲也	濱田 朋弥	佐藤 哲也	佐藤 哲也	高橋 芳夫
		3診 ③	井上 和男	澤井 孝典	小倉由紀子	井上 和男	
	午後	専門外来	慢性疾患 アレルギー	神経・アレルギー 循環器(第2火曜 医大循環器)	乳児健診	アレルギー NICU フォローアップ	慢性疾患 乳児健診
	予防接種	14:00~16:00(予約制)	14:00~16:00(予約制)	14:00~16:00(予約制)	14:00~16:00(予約制)	14:00~16:00(予約制)	
外科 消化器外科 小児外科	午前	⑤・⑥	東島 潤	福山 充俊 (乳がん検診も実施)	山崎 誠司	江藤 祥平	金本 真美 (肝臓・胆道・膵臓外来)
	午後	専門外来		福山 充俊 (乳腺外来)		江藤 祥平	
呼吸器外科	午前	⑧		先山 正二		先山 正二	先山 正二(予約制)
		⑦		日野 弘之 診察開始 9:30~		日野 弘之	
乳腺科	午前	⑤	本田 純子		本田 純子		
	午後	⑧			本田 純子 受付15:30まで		本田 純子 受付15:30まで
整形外科	午前	①	福田 昇司(予約制)		善成 晴彦	福田 昇司	合田有一郎
		②	善成 晴彦				
	午後	②	骨粗鬆症 13:00~15:00(予約制)			田村 竜也 (予約制)	
脳神経外科	午前	1診 ⑧			非常勤 診察時間 9:00~11:00(予約制) 予約外の方はお問い合わせ下さい		
皮膚科	午前	⑬	高橋 綾	高橋 綾	高橋 綾	高橋 綾	高橋 綾
泌尿器科	午前	1診 ⑨	島本 力 診察開始 9:00~	葺石 陽亮 診察開始 9:00~	医大医師 診察開始 9:00~		島本 力 診察開始 9:00~
		2診 ⑦					葺石 陽亮 診察開始 10:00~
	午後			葺石 陽亮	医大医師		
産科	午前	⑳	滝川 稚也	滝川 稚也	甲斐 由佳 1ヶ月検診	木下 宏実	青木 秀憲
	午後						青木 秀憲
婦人科	午前	⑳	木下 宏実	甲斐 由佳	木下 宏実	滝川 稚也	甲斐 由佳
	午後			クーポンがん検診 10:30~11:30(予約制)		クーポンがん検診 10:30~11:30(予約制)	
眼科	午前	㉑	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子
耳鼻咽喉科	午前	⑯	中野・武田	中野・武田	中野・武田	中野・武田	中野・武田
放射線科			塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文

※ 市町村発行のクーポン券を利用される乳がん検診は、平日の午前中外科外来にて行っています。診察も希望される場合は事前に外科までお問い合わせください。
 ※ 当日の受付は午前11:00までとなっております。